

【インクルーシブ通信】



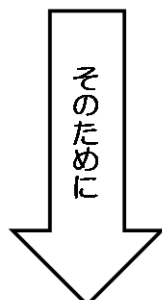
三入小学校 インクルーシブ通信 No.1
令和5年4月26日発行

はじめに

この度、三入小学校インクルーシブ教育COとなりました。西村真緒と申します。この通信は、私が研究を進める中で得た情報や校内で見つけた先生方の工夫をお伝えして、学校全体でインクルーシブ教育を推進していく一助としていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

◎インクルーシブ教育が目指すこと

日本は、全員参加型の共生社会を目指しています。



共生社会とは（文部科学省より）

これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会。
誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会。

インクルーシブ教育システムの構築を目指していきます。

インクルーシブ教育システムとは（文部科学省より）

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者がともに学ぶ仕組み。

◎三入小学校で目指すこと

○全ての児童が参加できる授業づくりと評価を研究していきます。

↓そのために3つのことにインクルCOが中心となって取り組みます。

- ①日頃から授業に参加しにくい児童について実態把握を丁寧に行う。
→3年生算数科を中心にどの学級の授業観察にも行かせていただきながら進める。
- ②どの児童も参加することができ、実態に応じた学習活動に取り組むことができるような授業の在り方を工夫する方法を検討する。
→先生方の授業の様子から工夫されている点を全体に伝えたり、インクルCOが研究を進める中で、適宜先生方に工夫のアイデアを提案したりする。
- ③適切な評価の在り方について研究を行う。
→合理的な配慮をしながら学習をした児童を全体と同じような規準で評価をするのか、文献や先生方のご意見を参考にしながら検討する。

ちょこっと

インクル Info.



三入小学校 インクルーシブ通信 No.2

令和5年5月1日発行

◎「合理的配慮」とは

前回の通信で、本校の研究で目指すことをお伝えしました。中でも、特に力を入れていきたいと考えている「合理的配慮」の言葉の意味について、今回はお伝えしたいと思っています。

言葉の意味を全員で共通理解したうえで、先生方ができることから取り組めるよう、次号からは具体的な例をお示ししたいと考えています。

「合理的配慮」

障害のある子どもが他の子どもと平等に教育を受けるために、必要な変更や調整。

もう少し詳しくすると…

○障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うこと。

○障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要とされるもの。

○学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は負担を課さないものの。

実際に研修で示された図です。

「野球…学習活動 箱…支援」です。

Cを目指して、様々な方法に取り組んでいきます。

A



配慮 が何もない状態…

B



平等 ではあるけど左の子はまだ見えない…

C



公正 さが担保されて全員が試合を観られる！

ちょこっと

インクル Info.



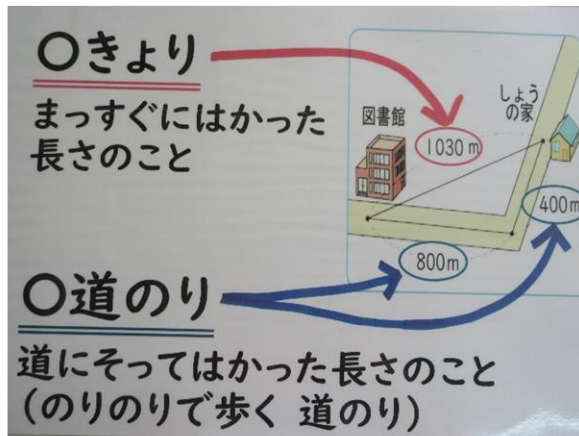
三入小学校 インクルーシブ通信 No.6

令和5年6月19日発行

◎見つけたよ♪伝えたいな！先生方の工夫①

教室を周っている中で見つけた先生たちの思いがこもった掲示や指導を紹介します。整った教室では、子ども達も落ち着いて過ごせると思います。教室の数だけ工夫もあるので、今後も定期的に紹介していけたらと考えています。

○学習のポイントを示す



0	13	16	①はじめに一のくらい
1	4	6	6から9はひけないので
-	8	9	十のくらいからくり下がります
			16-9=7
	5	7	②つぎに十のくらい
			3から8はひけないので
			百のくらいからくり下がります
			13-8=5
			③146-89=57

3年生の教室に貼られていました。授業でも前時の復習や練習問題に取り組むときに、子ども達が視線を送っていました。子ども達への支援になっていると感じました。

○教室を空けるときのも...

5年3組さん♪

1年1組さん♪



全員、机の上に何も置かれていません。椅子も入っています。教室に戻ってきた子ども達が、落ち着いて入れそうだなと思いました。

ちょこっと

インクル Info.



三入小学校 インクルーシブ通信 No.12

令和5年10月4日発行

◎少しずつでもきまりを守っていける子どもたちを目指して②

10月に入り、運動会に向けて各学年練習に励んでいることと思います。しかし同時に配慮を要する児童は、よりしんどさを強く感じる時期でもあります。今回は高知市の教育委員会が制作しているハンドブック「ほんの少し変えるだけでうまくいく～学校あるあるヒント集～」の中からいくつかの事例を紹介합니다。ここに紹介するものは一部です。他にもたくさんの事例が載っていますので、興味がある方は、この通信の最後にリンクを載せますのでご覧ください。

○私語がやめられない学級へ

①まずは5分間程度、私語をせずに過ごす時間をつくる。

「授業最初の〇分間は黙って集中する。」というルールを決め、できたらシールを貼ったり、「できたね。」と認める言葉をかけたりします。

②強化と弱化的の両方を使いながら教師がコントロールする側になる。

子どもの私語の中で「授業に関すること」や「手を挙げて発言したとき」は、「その考え方はいいね。」とか「よく知っているね。」などと発言を認めます。(強化)

反対に「授業に関係のないこと」や「挙手なしの発言」は聞き流して、取り上げないようにします。(弱化的)

③お話しタイムでメリハリをつくる。

話す題目を決めて、数分間ペアやグループで話してもよい時間をつくります。「話す時間」と「聞く時間」のメリハリをつけることをねらいます。

○集中力が途切れがちな学級へ

①動きのある授業にする。

立つ・座る・歩き回るなど、意図的に動きのある活動を取り入れてみる方法です。例えば、「全員立ちます。詩を読みます。読み終わったら座ります。」「自分と同じ意見の人を見つけに行きましょう。」などと、意図的に動きのある活動を授業に取り入れます。

②発表・発言スタイルのバリエーションを増やす。

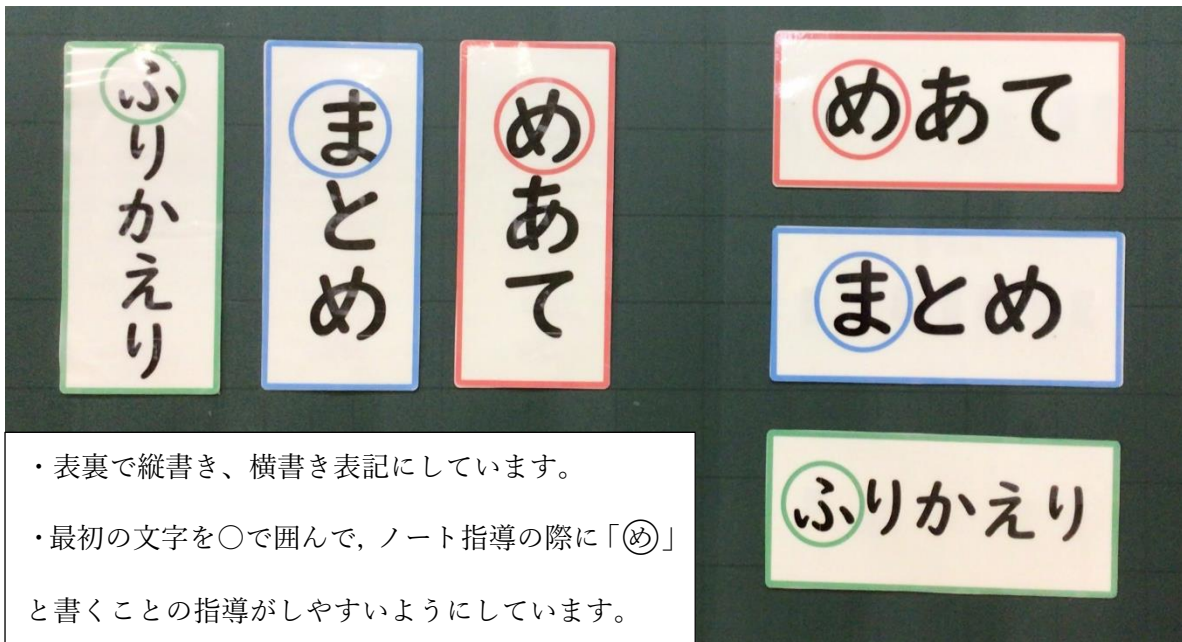
挙手→指名による発表だけでなく、意図的にあるいは予告した指名、席の順番ごとの発表、ペアやグループトーク後の発表、「せーの。」で全員発表など、子どもに飽きさせない、一部の子どもだけで授業を進めない工夫を取り入れる方法です。

③時間で区切る授業設計にする。

「めあての確認・自力解決」(15分)、「グループ交流、全体での共有」(15分)、「まとめ、適応問題」(15分)のように、授業構成を考える際に大まかに時間を区切って授業を設計していくと、授業にメリハリが付き、子どもが集中しやすくなります。



【全校共通の「めあて」「まとめ」「ふりかえり」表示】

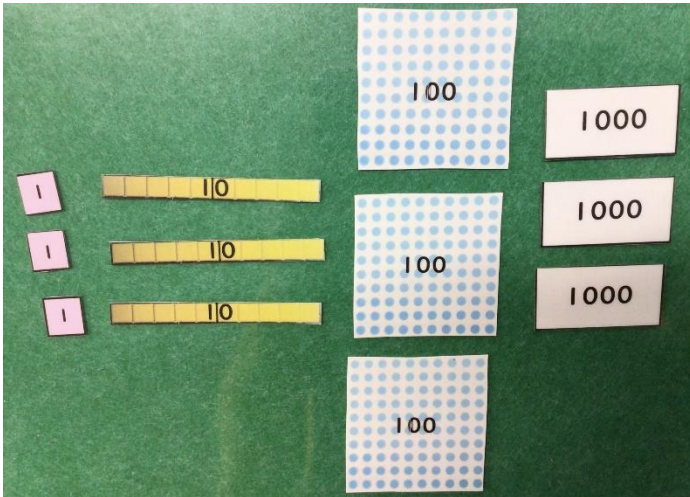


【リーディングトラッカーの活用】



・カラークリアファイルとマスキングテープで作りました。
・児童が自分で見やすい色を選べるように4色（赤、黄、緑、青）用意しました。

【数カード】



・数の概念の理解が難しい児童への支援として机上における大きさの物を作成しました。
 ・100の位までは半具体物で示せるようにして、少しでも数の大きさを理解しやすいように工夫しました。

【言葉カード】

・算数の既習事項をすぐに振り返ることができることをねらって作成しました。
 ・記憶することが苦手なことで算数に躓いている児童や、希望する児童に渡していました。

<p>かず 数のしくみ</p> <p>10が10こで100(百)</p> <p>100が10こで1000(千)</p>	<p>かず 数のしくみ</p> <p>ふとうごう 不等号 → >、< とうごう 等号 → =</p> <p>だい 大 > しょう 小</p>	<p>みず 水のかさ</p> <p>リットル デシリットル 1 L = 10 d L</p> <p>リットル ミリリットル 1 L = 1000 m L</p>
<p>じ じかん 時こくと時間</p> <p>じかん ぶん 1時間=60分</p> <p>ぶん びょう 1分=60秒</p>	<p>じ じかん 時こくと時間</p> <p>じこく → じ ぶん 時こく → ○時○分</p> <p>じかん ぶんかん 時間 → ○分間</p>	<p>かたち 形</p> <p>さんかくけい 三角形 ↓</p> <p>ほん ちよくせん かたち 3本の直線でかこまれた形</p>

【話型カード】

・やり方は分かっているのに、説明することが難しい児童の支援を狙って作りました。
 ・発表する際や自分の考えを書く際に使用していました。

<p>ひっさん ○筆算のやりかた</p> <p>・まず()から計算します。○+○=○です。</p> <p>つぎ ・次に()を計算します…</p> <p>こた ・答えは、()です。</p>	<p>ぶんしょうだい ○文章題のとき</p> <p>わ ・分かっていることは、()です。</p> <p>・もとめたいことは、()です。</p> <p>しき ・式は、()です。</p>
---	---